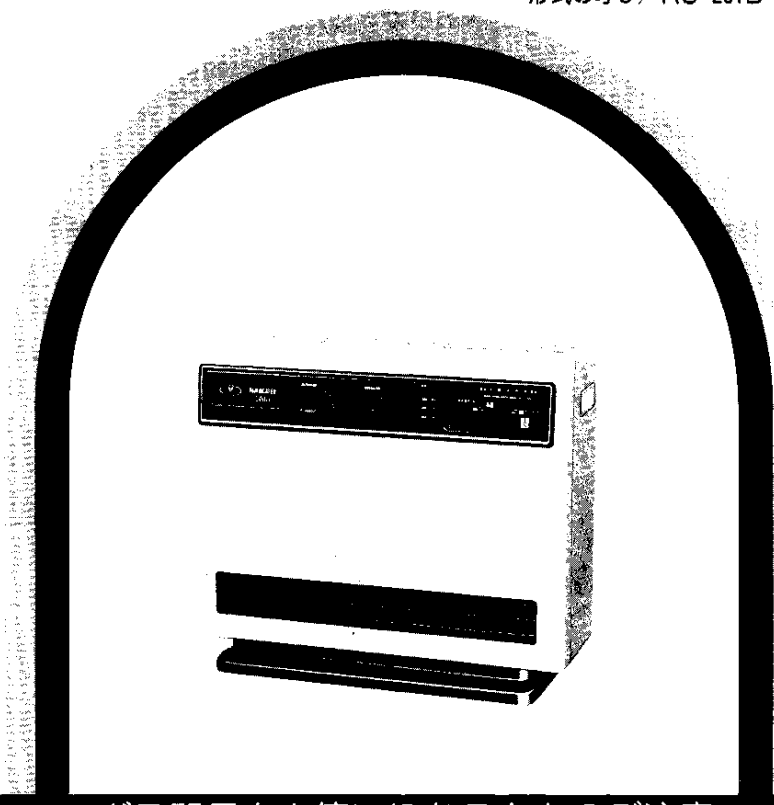
大阪ガス

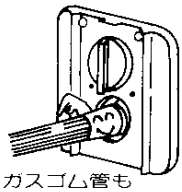
ガス ファンヒーター
取扱説明書 43-722・723型

保証書付

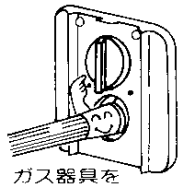
形式の呼び／RC-251B RC-321B



ガス器具をお使いになるときのご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
ガス元せんも
閉める習慣を

ガス器具は
ガスの種類
にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスファンヒーター
をお求めいただきありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保存してください。

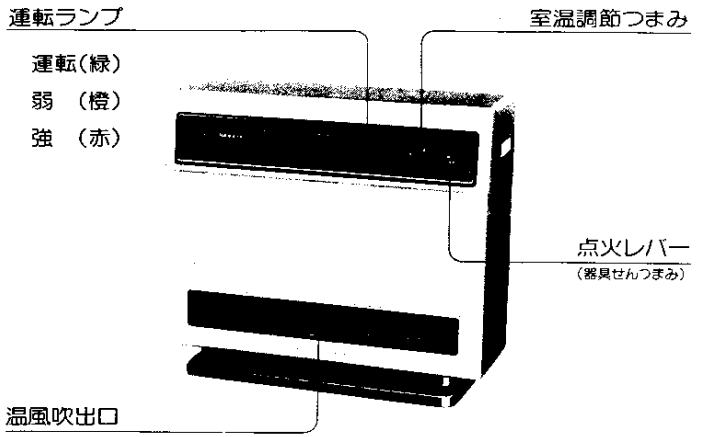
もくじ

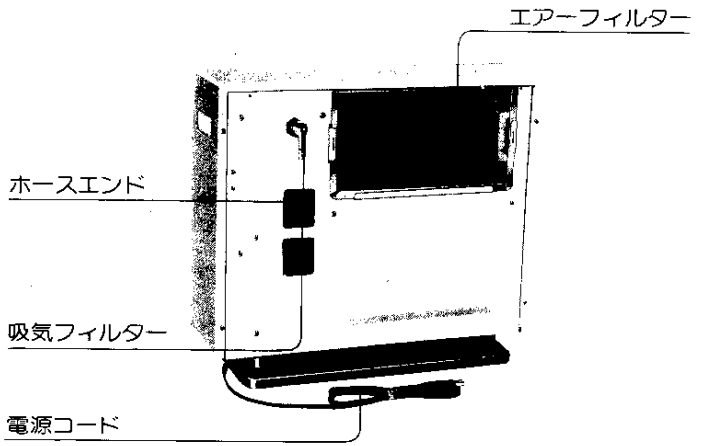
- 各部の名称……1
- 特に注意していただきたいこと……2
- 器具の設置……7
- 使用手順……8
- 使用時のご注意……12
  （安全装置が作動したときの処置方法）
- 日常の点検・手入れ……14
- 故障異常の見分け方と処置方法……16
- 長期間使用しない場合……17
- アフターサービスのお申し込み……18
- 特長……19
- 寸法図と仕様一覧表……20

換気にご注意

この器具は、強制給排気式（ＦＦ式）ではあ
りませんので換気が必要です。

各部の名称





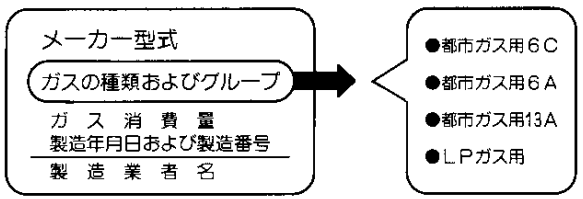
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

● **ガスの種類を確かめてください。**
ガス器具本体の右側面にはってある銘板（ラベル）に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

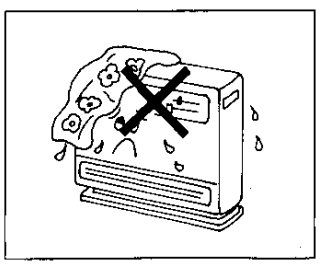
（銘　板）



● ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
● 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

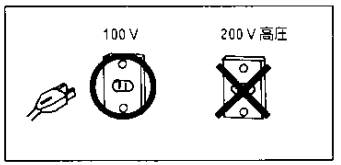
用途についてのご注意

● **暖房以外の用途(衣類の乾燥など)には使用しないでください。**
衣類などを器具の上に置いたりしますと、温風の出口や吸込口がふさがれてしまい、器具内に熱がこもり大変危険です。



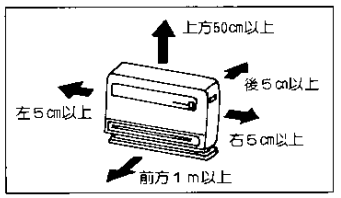
使用電源についてのご注意

● 電源の電圧と周波数を確かめてください。
この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。



使用場所についてのご注意

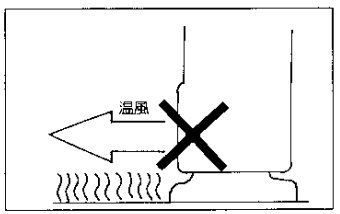
● 家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうぶんに離してください。後の壁から５cm、横の壁から５cm、前方１ｍ、上方50cm以内に家具、建具などの障害物のない位置を選んでください。



● **器具の使用場所は、お部屋の元せんの近くをお選びください。**
ゴム管を長くすると、あやまってふんだりひっかけたりするおそれがありますので、できるだけ、元せんの近くで使用してください。（３ｍ以内）

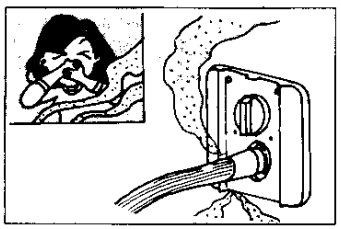
● **強い風の吹き込む所では使用しないでください。**
炎が風で消えることがあります。換気をするときにも、強い風があたらないようにご注意ください。

● **毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、敷き板等を敷いてください。**
温風がじゅうたんにあたり、変色するおそれがあります。

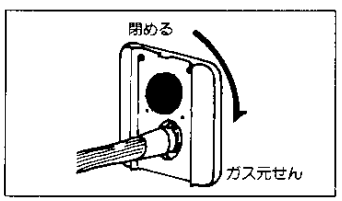


使用上のご注意

ガス漏れ予防

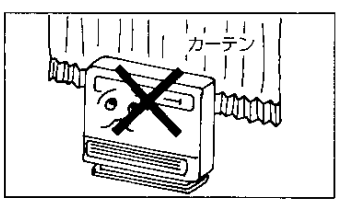


- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。
  ビニル管は弾力性がなく、熱にも強くありません。
- ゴム管は良質のものを用い、使用３年位を目安にとりかえてください。
  古くなりますと、抜けやすくなったりヒビ割れして、ガス漏れの原因になり危険です。



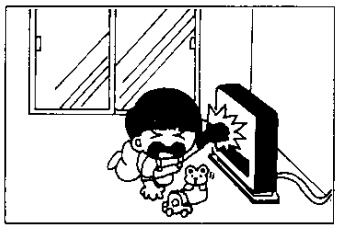
- 使用後は必ず器具せんを閉じ消火したことを確かめてください。
- お出かけやおやすみの際には、ガス元せんも必ず閉じてください。

火災予防

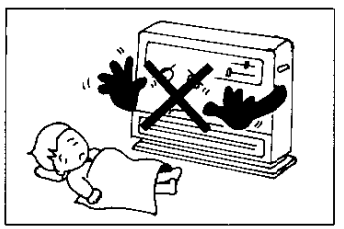


- 器具の上やそばに、燃えやすいもの（紙、カーテン、家具、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。また、紙、布、など可燃物を温風吹出口や吸込口に入れないでください。
  火災のおそれがあります。
- ヘアースプレーなど引火物を、器具の近くで使用しないでください。
  炎は見えていませんが、引火するおそれがあります。
- 火をつけたまま器具を移動させないでください。
  ゴム管が折れ曲がったり、抜けたりして危険です。

やけどのご注意

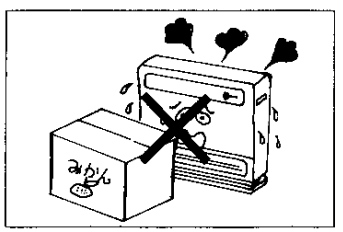


- ご使用中および使用直後は、温風吹出口とその周辺およびエアーフィルター部は熱くなりやけどの恐れがありますので、手を触れたりしないでください。
  特に、小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。



- 温風をじかに長時間お体にあてますとやけどのおそれがあります。特に乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方などがお使いになるときは、周囲の方が注意してあげてください。

過熱防止



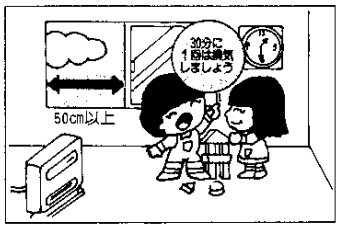
- 温風吹出口の前に物を置いたり、器具の後面（エアーフィルター部）をふさいだりしないでください。
  異常過熱して、器具に悪影響をあたえるばかりでなく、お部屋があったまらないこともあります。

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、ガスを外へ出してから、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具に触れたり（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。
  火や火花で引火し爆発事故を起こす危険性があります。

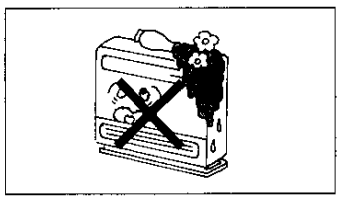
特に注意していただきたいこと⑤

換気のご注意



● 使用中は30分に１回、１分間以上換気扇を回すか、窓を開けるなどして十分な換気をおこなってください。
この器具は強制給排気式（ＦＦ式）ではありませんので換気が必要です。

水ぬれのご注意



● 器具に水は禁物です。花びんをのせたり、水のかかる所で使用しないでください。
内部が水でぬれますと、腐食することがあるばかりでなく、漏電・火災の危険があります。

異常時の処置

● ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用をやめ（器具せんつまみ、ガス元せんを止め）十分な点検をお願いします。
〔故障・異常の見分け方と処置方法については16ページをお読みください。〕

日常の点検・手入れ

● 日常の点検・手入れは必ず行なってください。（詳しくは14ページをお読みください）

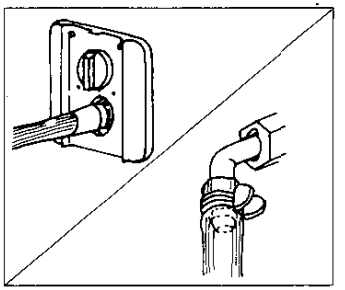
● 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

器具の設置

使用場所についてのご注意

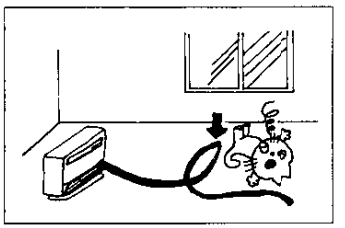
● ご使用になる場合は、3ページの使用場所についてのご注意をお読みください。

ゴム管の接続



● 「カチット」方式の接続は確実に押しこんでください。

● ゴム管は9.5mmφ（内径 9.5mm）のゴム管を使用し、ガス元せん・器具のホースエンドとも赤線まで十分に差し込んで、ゴム管止めでしっかり止めてください。
ゴム管止めでしっかり止めていないと、知らずにはずれかかってガスもれが生じることがあり危険です。

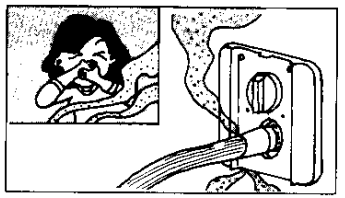


● ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないように、できるだけ短かくし（３m以内）、また器具の下を通したり器具に触れたりしないようにして使用してください。

● ゴム管の器具接続や、元せん接続に、「カチット」を接続すれば、接続が簡単で便利になるだけでなく、不十分なゴム管接続によるガスもれを防ぐことができます。

器具の設置②

● ゴム管は良質のものを用い、使用３年位を目安にとりかえてください。
ゴム管が古くなりますと、ガス元せんや器具のホースエンドから抜けやすくなったり、ヒビ割れしてガスもれの原因になり危険です。



使用手順

はじめてお使いのとき

はじめてお使いのときや、しばらく使用されなかったあとなどは、ゴム管内に空気が入っているため、すぐに点火しない場合があります。この場合は、点火操作後30秒程で器具の運転ランプ（緑色）が消えてしまいます。再度点火操作をくり返してください。

点火前の準備と確認

● 電源プラグを交流100Ｖのコンセントにしっかりとさしこんでください。

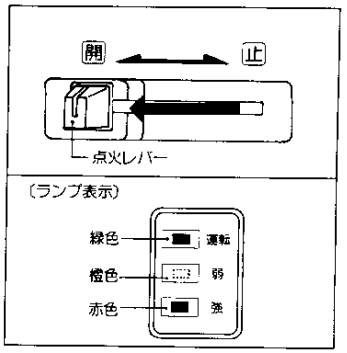
＜ご注意＞
交流100Ｖ用コンセントであることを確認してください。200Ｖ等の場合、器具がこわれてしまいます。

● 点火レバー（器具せんつまみ）の 止 を確認し、ガス元せんを全開にしてください。

＜ご注意＞
ガス元せんが全開になっていないと点火しにくかったり、正常な燃焼ができなくなり、安全装置で消火してしまうことがあります。

使用手順②

点　火



● 点　火
①点火レバー（器具せんつまみ）を 開 の位置まで確実にスライドさせてください。

②同時に、「運転」ランプ（上段・緑色）の点灯を確認してください。
（点灯しないときは、電源プラグのさしこみを確認してください。）
数秒（５～６秒）後にスパークがはじまり、バーナーに点火します。

③点火後、数秒して「強」ランプ（下段・赤色）が点灯するのを確認してください。

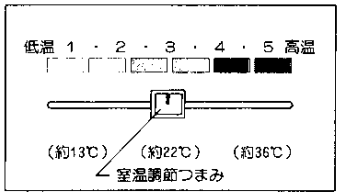
＜ご注意＞
はじめてお使いのときや、しばらくお使いにならなかったあとなどは、ゴム管内に空気が入っているため、点火するまでに時間がかかることがあります。点火するまでしばらくお待ちください。30秒程たっても点火しない場合は、スパークが止まり「運転」ランプ（緑色）が消えてしまいます。再度点火操作をやりなおしてください。

● 暖房運転の開始
点火後、１分程して、ルームサーモ（室温調節器）の働きによって、運転状態が自動的に切り替わります。（以後は自動的に行なわれ、手をふれる必要はありません）

＜ご注意＞
室温および室温調節つまみの位置によっては、強燃焼（赤ランプ）のままで切り替わらないこともあります。室温が低いとき、室温調節つまみが「高」側のときなど。また、点火したあとやルームサーモ（室温調節器）が作動したあとおよび消火したあとに「チリチリ」と金属音がすることがあります。これは燃焼器部分の金属が膨張・収縮する際の音で異常ではありません。

● 消火後の再点火
消火後すぐに再点火するときは、しばらくしてから行なってください。また必要以上に点火・消火をくりかえさないでください。着火音が大きくなったり、器具が過熱することがあります。

室温調節

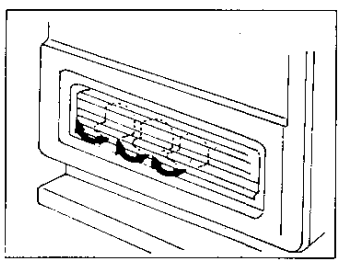


● **室温調節つまみでお好みの温度に調節してください。**
ルームサーモ(室温調節器)の働きにより、「燃焼停止」、「弱燃焼」「強燃焼」の切り替えで自動的に室温を一定に保ちます。

各燃焼状態に応じてランプの表示がかわります。 ⇨
- 燃焼停止 → 緑色(上)
- 弱　燃焼 → 橙色(中)
- 強　燃焼 → 赤色(下)

<ご注意>
室温調節つまみのセット温度は、ルームサーモ感温部の温度です。部屋の温度計とは必ずしも一致しません。あくまでもめやすと考えてください。
家屋の構造、外気温度、使用位置によっては、お好みの温度にならない場合があります。

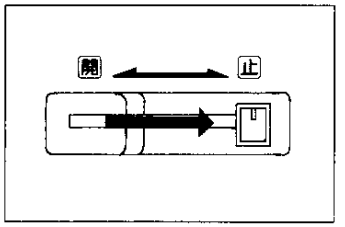
風向調節



● **風向は左右に調節できます。**(半固定式)
左右の調節は、ルーバーの間から行なってください。ただし、調節は2～3回以上くり返さないでください。
何度も調節すると折れてしまいます。

<ご注意>
使用中および消火直後は、ルーバー付近は熱くなっています。やけどのおそれがありますので、風向調節は器具が冷えたときに行なってください。

消　火



①点火レバー(器具せんつまみ)を 止 の位置まで確実にスライドさせてください。
②表示ランプはすべて消えますが対流用ファンは数分間回り続けて、自動的に止まります。
●**ご使用後は、ガス元せんも閉じてください。**

<ご注意>
消火後、対流ファン(温風)が止まるまで電源は抜かないでください。器具内部の熱を出して過熱をふせぐために必要です。使用中、電源プラグを抜いて消火することはしないでください。

停電時の処置

● **停電時の処置**
停電になったときは、点火レバー(器具せんつまみ)を 止 にもどし、ガス元せんを止めておいてください。
● **停電後の再点火**
ガス元せんを全開にし、通常の点火操作を行なってください。

<ご注意>
使用中停電になったとき対流ファンが止まるため、器体上部が過熱します。器体上部にふれないでください。(すぐに再通電したときは、対流ファンだけ回り過熱をふせぎます。)

使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

● 過熱による消火時の処置

エアーフィルターが目づまりしたり、**温風吹出口に障害物**があったりした場合には器具内が**異常に過熱**します。この場合、自動的にガス通路を閉じ、**消火してしまいます。**

エアーフィルター及び吸気フィルター部の掃除や、障害物を取り除いた後、**しばらく(5～6分)してから再点火**してください。(電源プラグは対流用ファンが回っているあいだは抜かないでください。)

● 過熱防止用温度ヒューズの作動

万一異常過熱したときに、温度ヒューズが作動して**消火します。**(二重の安全装置)

この場合は、器具を冷やしても**再点火できません。修理が必要です。**

お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

● 電流ヒューズの作動

ご使用中なんらかの原因で過電流が流れると、電流ヒューズが切れて、**使用できなくなります。**点火操作をしても「運転」ランプが**つかなくなります。修理点検が必要です。**

お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

● 停電安全装置の作動

停電時は使用できません。安全装置が作動し、生ガスの放出を止めます。**停電中は必ず点火レバーを止にもどし、、ガス元せんを閉じておいてください。**

11ページの「停電時の処置」をお読みください。

● 転倒時ガス遮断装置

器具が転倒した場合、激しい衝撃が加わった時などに作動して消火します。

この場合は、いったん止にもどし再点火してください。

安全装置が作動したときの処置方法 ②

● 消火センサー(安全装置)の作動

使用中にバーナーが消えた場合に安全装置が働き、生ガスの放出を防止します。

ゴム管を踏んだり、ガス元せんが開きたりなかったときや、強い風が吹いたときなどにおこります。

点検後、再点火してください。

● 不完全燃焼防止装置の作動

ガスが正しく燃えるためには、ガスの6～10倍もの空気が必要です。**しめきった部屋で長時間使用**すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼して、一酸化炭素を発生する危険があります。**エアーフィルターや吸気フィルターがつまっても**同様です。

このような場合に、不完全燃焼をする前に燃焼を停止する安全装置です。**不具合を点検してから再点火**してください。

● ファンコントローラ(送風制御装置)

電気回路中に組み込まれている送風制御装置で、燃焼停止時、消火後に器具の過熱を防止します。対流用ファンは消火後数分間は止まりません。回っている間は電源プラグは抜かないようにしてください。消火後すぐに電源プラグを抜いたり、電源プラグを抜いて消火しますと、器具が過熱して故障の原因になります。また、器体上部が過熱してやけどの危険があります。

<ご注意>

安全装置が作動したあと、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくりかえすような場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

点検・手入れについては、下記の**日常の点検以外は**お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
点検・手入れ前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。
また**電源プラグを抜いてから**行なってください。

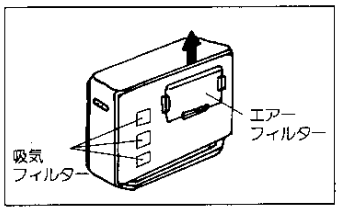
点　検

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびガス元せんとも**ホースエンドの赤線まで十分差し込んで**あるか点検してください。
- ゴム管が**古くなったり、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいる**ためにガスが漏れていないかときどき石けん水などで点検してください。
- 器具の近くに、紙・プラスチック・油類など**燃えやすいものが置いてない**か点検してください。

お手入れ

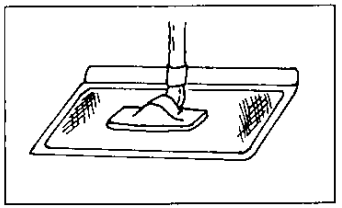
●フィルターのお手入れ

・エアーフィルターは**週一度以上**必ず掃除してください。エアーフィルターは図のように上方に引き出し、電気掃除機などでよくそうじしてください。よごれがひどいときは、ぬるま湯で洗って**よく乾かしてから**ご使用ください。



・吸気フィルターは外れませんが、電気掃除機などでこまめにそうじしてください。

・エアーフィルターにゴミやホコリがたまると室内循環用の風量が減って暖房効果が悪くなるばかりでなく、異常過熱や、安全装置の作動の原因になります。



器具外装のお手入れ

・やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってからふいてください。汚れがひどいときは、液状の洗剤を布にふくませて汚れをおとしてください。このときは、洗剤をよくふきとってください。

＜ご注意＞
金属たわし、みがき砂などは使用しないでください。またベンジン、シンナーなど揮発性のものは絶対に使用しないでください。キズがついたり色があせたりします。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象 / 原因	ランプが点灯しない（緑色）	スパーク音がしない	点火しにくい 点火しない（赤ランプが点灯しない）	ガスの臭いがする	使用中に消火する	（消えてしまう）異常な音をたてる	部屋の暖まりが悪い	処置方法	参照ページ
電源プラグが差し込んでない	○	○	○					電源プラグを確実に差し込む	8
ガス元せんの開き忘れ・開き不十分			○	○	○		○	ガス元せんを全開にする	8
ゴム管内に空気が残っている			○	○				点火操作をくり返してください	9
ゴム管の接続が不完全				○				確実に接続する	7 8
ガスの種類が違う			○	○	○	○	○	本体右側面の銘板を確認してください	2
ゴム管が長すぎる ゴム管の折れ曲がり・つぶれ			○	○	○		○	不具合を除き再点火してください	3 7
ゴム管のひび割れ・穴あき				○				ゴム管を交換・先を切りつめる	8
サーモが「低温」側になっている			○				○	サーモの設定より室温が高いため「燃焼停止」になっている。サーモを「高温」側にする。	9 10
換気が不十分である					○			30分に1回1分程度換気する	6 13
フィルターがつまっている 吹出口に障害物がある			○	○	○	○	○	日常の点検手入れを実施してください。障害物を除き再点火してください。	13 14
点火（燃焼を開始）したばかりである				○				点火時、少し臭うことがあります	
スパーク装置の故障（コード外れなど）		○	○					点検修理を依頼する	
安全装置が作動した	○	○	○		○	○	○	点検修理を依頼する	12 13

●処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

長期間使用しない場合

●各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニルをかけて、お求めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分（ホースエンド）などにはほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。保管場所は、高温になる所や、直射日光のあたる所はさけてください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

● 16ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買上げの店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1) 品　名……（ファンヒーター）
(2) 品　番…… 左側面下部に貼付してあります。

（例）

(N)43-722(U)
大阪ガス株式会社 02

(3) 現　象……（できるだけ詳しく）
(4) 道　順……（できるだけ詳しく）

転居される場合

● **ガスには都市ガス14種類およびＬＰガスの区別があります。**
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買上げの店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料修理となります。

保証書について

● **この器具には保証書がついています。**
このファンヒーターは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特　長

1 設置工事が不要で手軽に温風暖房機の快適さが得られます。また使用場所の移動が可能です。

2 暖房の立ち上がりが早く、温風下吹き出しによる暖房効果のよさと、ルームサーモ(室温調節器)を備えた省エネルギー志向のファンヒーターです。

3 スライド式のワンタッチ点火で、操作が簡単です。

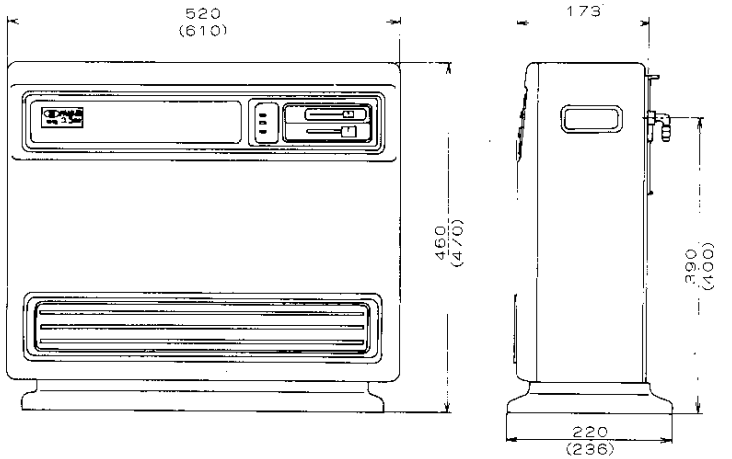
4 換気不足や、フィルターほこりつまり時に、自動的に燃焼をストップさせる不完全燃焼防止装置付きです。万一を考慮した安全設計です。

5 ルームサーモ（室温調節器）により、「強」・「弱」・「燃焼停止」の３段に燃焼を制御しています。お部屋の温度をこまめにコントロールし、暖めすぎることがなく経済的です。また燃焼状態を３色のランプで表示しています。
（「強」→赤色、「弱」→橙色、「燃焼停止」→緑色）

6 おちついたデラックスなイメージのデザインです。

寸法図と仕様一覧表

寸 法 図



仕様一覧表

種別	43-722型				43-723型			
項目	都市ガス 6C	都市ガス 13A	都市ガス 6A	LPガス	都市ガス 6C	都市ガス 13A	都市ガス 6A	LPガス
ガス消費量(kcal/h)	2500	2500	2500	0.21kg/h	3200	3200	3200	0.27kg/h
暖房のめやす	6～9畳（10～15㎡）				8～12畳（13～20㎡）			
外形寸法（mm）（高さ×幅×奥行）	460×520×173（脚部分 幅220）				470×610×173（脚部分 幅236）			
重量（kg）	12.5				13.5			
電気消費量（W）	強／弱 45／37				強／弱 45／37			
接続 ガス	9.5mmφ ガス用ゴム管							
接続 電気	AC100V、60Hz(電源コード長さ 2m)							
燃焼方式	全一次表面燃焼式							
給排気方式	開放式							
放熱方式	強制対流式							
点火方式	電源スパーク点火式							
安全装置	○消火センサー ○不完全燃焼防止装置(サーモカップル2個) ○過熱防止(温度ヒューズ、サーモカップル) ○転倒時ガス遮断装置 ○電流ヒューズ ○停電安全装置 ○ファンコントローラ							

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）、大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06 (202) 2221
南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06 (652) 0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06 (301) 1251
堺支社	〒590	堺市住吉橋町2丁2番19号	☎堺 0722(38) 1131
北摂支社	〒569	高槻市藤の里39番6号	☎高槻 0726(71) 0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26) 3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内 0729(62) 1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚方 0720(41) 1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576) 5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池柿屋町358	☎京都 075(231) 8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44) 1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1丁目1	☎和歌山 0734(31) 2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792(85) 2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町粟津29．1	☎加古川 0794(21) 1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3) 2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀 680の1	☎草津 0775(62) 5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12番11号	☎彦根 0749(22) 3131
(長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 07496(2) 7171)

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

83.07.(00)